

各 位

会社名 倉庫精練株式会社
 代表者名 代表取締役社長 羽田 学
 コード 3578 東証2部
 問合せ先 総務課長 上田 紀昭
 電話番号 076-249-3131

特別利益の計上、通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日発表いたしました2022年3月期第2四半期決算（2021年4月1日～2021年9月30日）において特別利益を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月12日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益（受取保険金）の計上について

2021年3月13日に発生いたしました当社本社工場の爆発事故に対し、保険会社より損害保険金を受領いたしましたので、2022年3月期第2四半期において、受取保険金161百万円を特別利益に計上いたしました。

なお、本爆発事故に関する建物等の復旧費用につきましては、前期（2021年3月期）に特別損失として25百万円を計上済みであります。

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想の修正

(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,400	百万円 △100	百万円 △70	百万円 △70	円 銭 △27.39
今回発表予想(B)	2,250	△280	△230	△90	△35.22
増減額(B-A)	△150	△180	△160	△20	—
増減率(%)	△6.25	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (2020年3月期)	1,968	△331	△193	△214	△134.12

(2) 修正の理由

売上高につきましては、繊維事業の新規資材分野の生産の遅れ等と機械製造販売の減少により、前回予想に比べ150百万円減少する見込みであります。利益面では、売上高の減少に加え、原燃料価格が世界的に高騰し、当初の想定を大きく上回る水準となっており、受注価格の改訂に取り組むものの、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益とも前回予想を大きく下回る見込みであります。

(3) 今後の見通し

当社は、2021年4月にスタートした3カ年の中期経営計画「REBORN2023」に鋭意取り組んでおり、今後も継続して収益力向上とコスト削減を強力に推し進め、早期の黒字化と安定的な株主還元を目標に、2023年3月期（連結）には、営業損益・経常損益・親会社株主に帰属する当期純利益とも黒字化の達成を目指しております。

また、業績低迷にも関わらずご支援いただいております株主の皆様への還元策としてお約束した、2022年3月期の配当予想につきましては、1株当たり12円から変更ありません。

注) 上記の予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上